



故 天 野 慶 之 先 生
The late Professor Keishi Amano
(1914~2002)

天野慶之先生のご逝去を悼む

日本水産学会名誉会員，東京水産大学名誉教授天野慶之博士は平成14年10月31日逝去されました。享年88歳でした。

先生は大正3年（1914年）4月1日東京都にお生まれになりました。昭和9年3月農林省水産講習所本科製造科をご卒業後，直ちに農林省水産試験場助手となられ，昭和24年以降は農林省東海区水産研究所に勤務されました。その後，保蔵部長，所長を歴任し，昭和50年3月退官の後，東京水産大学教授として新設の食品衛生化学講座を担当され，学生の教育や研究指導にあたられました。昭和54年11月から2期6年間東京水産大学学長として管理運営にあたられるとともに大学院博士後期課程の創設に尽力され，大学の発展に力を注がれました。

先生は食品保蔵学，食品衛生学などの分野で幾多の業績をあげられておりますが，魚介類の鮮度判定，冷凍魚とその解凍，魚介類の死後変化と変質，放射能汚染魚および放射線殺菌，食品添加物，食中毒および魚介類の有害金属に関する研究などにおいて先駆的役割を果たされました。ご研究は水産学および水産業界の発展に大きく寄与するものとして昭和28年4月には「水産食品鮮度判定の化学的研究」に対して日本水産学会賞（化学部門）を受賞され，さらに昭和50年4月には「水産食品の品質保持に関する研究」に対して日本水産学会功績賞が授与されました。一方，本学会の運営においても尽力され，理事，監事，評議員，編集委員長を歴任された後，昭和51，52年度副会長，昭和53，54年度会長として本学会の発展に尽くされました。これらのご功績とご功勞に対して昭和61年4月に名誉会員に推挙されております。さらに多年のご功績によって同年4月には勲二等旭日重光章を受章されました。

先生の四十数年間にわたる水産学のご研究は学術の振興と発展に寄与するところが極めて大きく，また教育者として厳しい中にも誠実で，人間味あふれるお人柄は多くの後輩達をひきつけ，慈父のように慕われておりました。先生のご指導により有為な人材を社会に送り出されましたことは，優れたご業績とともにいつまでも私達の心の中に残るものであります。

ここに天野慶之先生の生前のご功績を称え，謹んで哀悼の意を表します。

（山中英明，東京水産大学教授）